

公益社団法人私立大学情報教育協会
2021年度第2回情報教育研究委員会合同会議議事記録
情報教育研究委員会、情報リテラシー・情報倫理分科会、分野別情報教育分科会

I. 日 時：令和3年7月28日（水） 17：30～19：30

II. 場 所：Zoom 会議室

III. 参加者：斎藤委員長、大原副委員長、笈委員、牧野委員、玉田主査、高岡委員、佐々木委員、
和田委員、金子委員、高橋委員、中西委員、山口委員、小原委員、松尾委員、児島主査、
角田委員、阿部委員、石川委員、渡辺トバ伊
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

コンソーシアム掲載コンテンツの整備について、各委員が作成した教材、教育方法、事例などの確認を行った。

(1) 情報Iとの接続、アルゴリズム関連教材の作成

- ・ 全体の整理（前提、方針、授業内容、教材内容）と教材が提示された。
- ・ 対象は、全ての学部学科と考えるが、現実的には、プログラミング経験のない教員が指導するのは困難と判断する。
- ・ 3コマを当初想定していたが、プログラム・アルゴリズムの初歩的な理解・修得としても5コマは必要とのことで、90分×5回授業で構成することにした。
- ・ 教材は、Python を利用した内容が提示され、5回の授業構成に学修時間とレベルなどを考慮して組み込み予定にしている。
- ・ コンテンツとしては、一式とし、分担は、一人の委員が方針、授業内容、教材内容などを整理し、二人の委員が具体的な教材を作成することにした。また、一部の教材は教科書の利用を考えている。

(2) 問題発見・解決思考の枠組み理解の教材及び教育方法「作成済みコンテンツの見直し」（

- ・ 到達目標Cに到達点を4まで設定していたが、ループリックを作成すると他の到達目標を整合しにくいことから、到達目標Cは、到達点1、到達点2-1、到達点2-2、到達点3に変更することにした。（ただし、授業シナリオ等に記述の場合、C2-1・C2-2とは表記せずC2に省略）

(3) モデル化、シミュレーション化の教材及び教育方法「作成済みコンテンツの見直し」

- ・ 見直しをするにあたり、到達目標Cの(新)到達点3にDXを含めることで、到達点の更新から進めることにした。

(4) モデル化、シミュレーション化関連教材の作成

- ・ Society5.0におけるモデル化とシミュレーションと題して授業シナリオが提示され、既存の教材の提供も含めて確認され、提案の方向で進めることにした。
- ・ 実際の社会での事例（生涯賃金予測、持ち家と賃貸の費用予測など）を題材にした概要が提示され、提案の方向で進めることにした。

(5) 実課題との関連でデータサイエンス・AIの活用体験をさせる教材の作成

- ・ 就職活動に焦点を当て人事に関わるデータ（人事データは仮想データとして作成したものを使う）を題材にした授業シナリオが提示され、提案の方向で進めることにした。
- ・ 次回に、もう1本のコンテンツが提出されることを確認した。

(6) 初年次教育と専門科目を連携した情報活用教育事例の充実「経営学分野」「薬学分野」

- ・ 次回に、2本のコンテンツが提出されることを確認した。

(7) 初年次教育と専門科目を連携した情報活用教育事例の充実

- ・ 医療系のオンラインと対面を組合わせた授業例が提示され、感染症数理モデルの授業シナリオと解説スライドを確認し、提案の方向で進めることにした。
- ・ 事例充実の範囲・内容について意見があり、ハイブリッド・ハイフレックス型授業に対応、オンライン授業での利点などを含めて更新することが確認された。

(8) 情報教育教員以外の専門分野教員を対象にしたアンケート

- ・ コンソーシアムへの参加促進について、メールで案内する内容とアンケート項目・サイトの準備ができたことから、翌日以降に本協会管理のサイバーFD研究員（情報関連以外）にメールを発信する。

VI. 今後のスケジュール

次回の合同会議は、8月4日（水）に開催し、継続して役割分担したコンテンツ資料の確認を行うことにした。